

(事例46) 25歳女性、事務、抑うつのため職務負担の軽減

類型	症候	疾患
1、4	2. 抑うつ	15. 低学力、抑うつ

きっかけ	<input type="checkbox"/> 健康診断の有所見	<input checked="" type="checkbox"/> その他の機会
<p>1. 対象者のプロフィール</p> <p>1) 年齢、既往歴 25歳、女性</p> <p>2) 業種、作業内容 事務作業</p>		
<p>2. 就業制限・配慮の対象となった疾病、健診値異常 例) 高血圧、HbA1c 高値、腰痛など 抑うつ</p>		
<p>3. 就業制限・配慮の内容 例) 高所作業禁止、出張禁止、残業禁止、配置転換、治具導入など 職務負担の軽減</p>		
<p>4. 事例の詳細 (背景、経緯、特に考慮した事情など)</p> <p>事務作業の効率が著しく低く、残務のため残業が発生し、軽度の抑うつも抱えていた。職場が先走って、専門機関で学力検査を受けさせられており、低学力、IQ の軽度低下の診断が出る。日常生活に支障はなく、電話対応などは可能であるため、事務作業の軽減措置を行った。</p>		
<p>5. 就業制限・配慮の主な目的 (複数回答可)</p> <p>①業務が当該労働者の健康、安全、疾病経過、予後に影響を与える可能性があったため</p> <p>④職場や企業への注意を促すため (例: 過重労働職場に対し、残業を一定時間以下に制限するなど)</p>		
<p>6. 就業制限を実施するにあたって注意した事、阻害要因、問題点などあれば教えてください</p>		